**JST さきがけ　プレス基本情報シート**

【研究者情報】

|  |  |
| --- | --- |
| 研究領域 |  |
| 課題名 |  |
| 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |

【プレス情報】

１）掲載雑誌名

２）論文タイトル

３）論文のオンライン掲載日と報道解禁日(Embargo)

※分かる範囲で、大まかでOK。

※まだ案内がなければその旨を記載頂き、雑誌社へ別途問い合わせてください。

※掲載日・報道解禁日(Embargo)等が通知されたら、そのメールを添付してください。

４）共同発表の主体

(i)所属機関 ／ (ii)ＪＳＴ ／ (iii)ＪＳＴ単独（所属機関はプレスリリースしない）

※不明の場合、まずは機関の担当部署とご相談ください。

※ＪＳＴ主体でレクを希望の場合には、まずはその旨を明記ください（特にニュース性や話題性がある

（様式）

もの、実物や映像があるもの等、資料の配付だけでは伝わりにくいものが対象となります）。

５）本成果におけるさきがけの寄与率（他制度から助成を受けた場合はその寄与率も合わせて記入ください。）

※ＪＳＴのプレスとしての妥当性や発表主体の判断材料とさせていただきます。他制度の助成も受けている場合、成果の切り分けについて、それぞれの詳細をご記載ください。また、寄与率は助成金額の多寡ではなく、内容で判断してください。

*（例）さきがけ　○％、ＸＸ費　△％*

*さきがけでは〇〇を目指しており、本成果はＸＸの達成に関するものなので、△△について、さきがけの寄与がある。一方、ＸＸ費では、〇〇を目指しており、本成果の△△の達成に関するものは、ＸＸ費の寄与があると言える。よって、さきがけ、及びＸＸ費の成果としてプレス発表を行うことが適切であると考える。*

６）論文著者名、もしくは本成果を得るに当たり協働した方が居れば、お名前とその方の役割（実験分担など）。

※責任著者には「\*」を付記してください。

７）研究成果の概要（箇条書きでご記載ください）

①研究分野の背景とこれまでの研究の問題点

※世界的な潮流でもご自身の研究でも可

・

・

・

②成果の要点

※具体的には、▽これまでの研究との違い　▽ブレークスルーのポイント　▽学術的な意義などの成果のアピール点

※「世界最高」「世界初」等と謳う場合には、これまでの研究との違い、進歩性に対して誇大な表現となっていなか慎重にご検討ください。

・

・

・

③社会に向けて成果発信する意義

▽ 本成果が将来的に「経済的・社会的価値の創造」につながるストーリーや展望（実用化に向けた現状の動き（産学連携の状況等）や実現するまでのステップと時間等）

▽一般の人に伝える価値（どのような点で興味関心を惹くものであるのか）

※ 成果のフェーズがサイエンス/基礎研究であること、また、成果によっては産業・生活に直接的に「役立つ」とは言いにくいものであることは問題ありません。ここには、上記▽を主な観点として、社会に向けて発信する意義が分かるように書いてください。

※ 本項目がプレス実施の重要な基準になりますので、必ず記載ください。またプレス原稿にも反映ください。

・

・

・

④上記③の確認先

※研究総括以外に、上記②および③について確認するのが適切な領域アドバイザーがいましたら、お名前を記載ください。JSTでのプレス実施を判断するために、確認させて頂くことがあります。

８）プレプリントサーバーへの掲載

掲載：　有／無

（掲載有の場合）プレプリント論文のURL

（掲載有の場合）プレプリント時からの変更有無：　有／無

変更内容の概要（簡単にご記載ください）：

９）所属機関の広報担当者と連絡先

１０）研究者の緊急連絡先